

トランプ氏の発言と我が国の対応

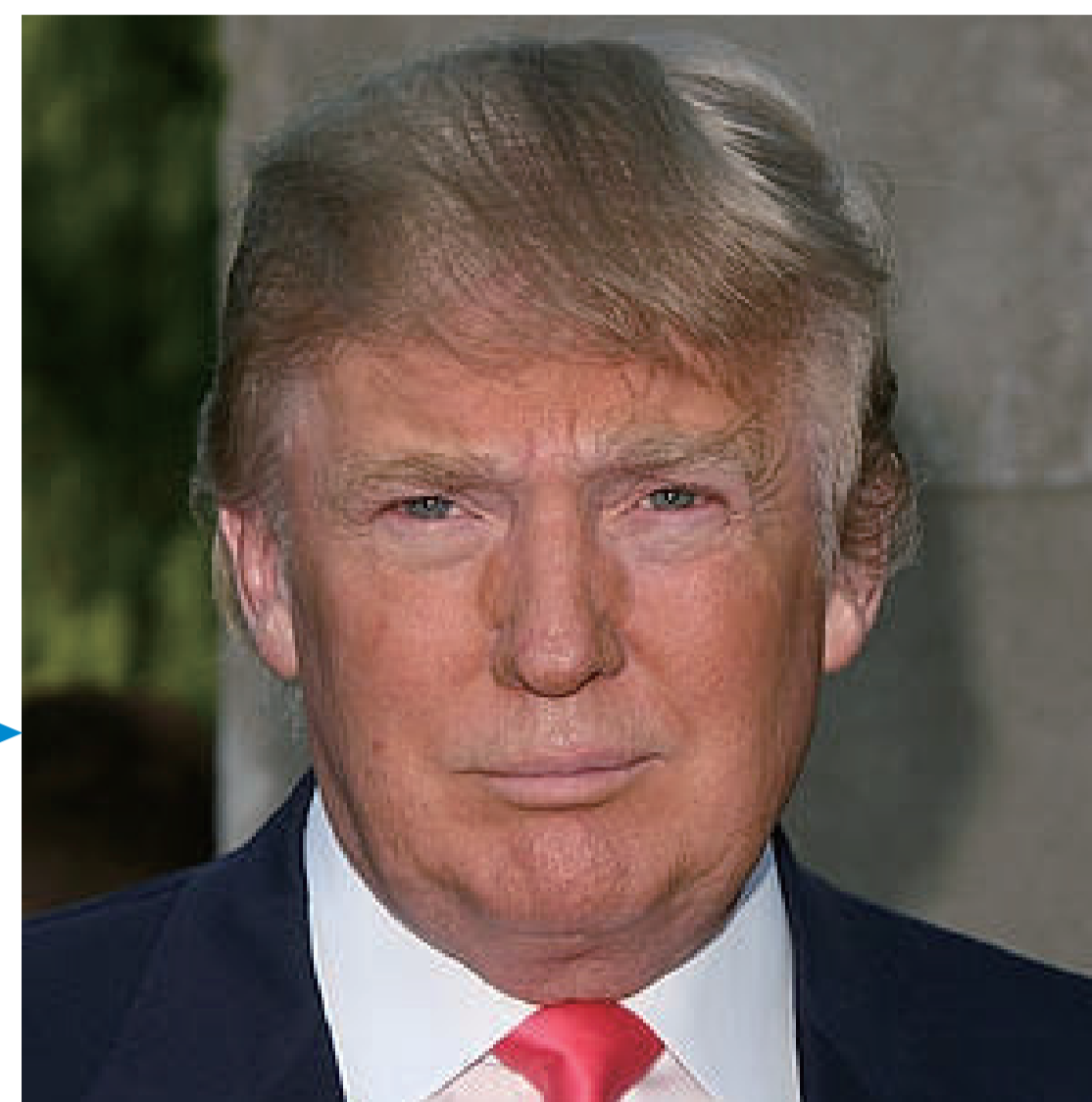
トランプ氏の発言		新政権の対応		想定し得るシナリオと我が国の対応	
共和党 討論会 (2015/11)	TPPはひどい協定だ。…中国がいつものように裏口から入り、他国を利用できるように作られている。	批准	締結の形でTPP発効	日本はどこまで関与？	
党大会指名 受諾演説 (2016/7)	TPPは、米国の製造業を破壊するのみならず、米国を外国政府の支配下に置こうとするものである。…米国の労働者を傷つけ、米国の自由と独立を損なういかなる経済協定にも 決して署名しない ことを誓う(I pledge to never sign any trade agreement that hurts our workers, or that diminishes our freedom and our independence)。	再交渉	締約国が再交渉に応じ、新たな条文でTPP発効 (トランプ氏が問題としている自動車産業等について)日本や主要国が再交渉に応じ、追加の二国間文書を付して発効	日本の国益は？ 再交渉に応じる条件をどうするか	
経済政策に 関する演説 (2016/8)	もしもTPPが現実に承認されたら、どれだけの自動車産業の雇用が失われるか想像してほしい。それゆえ、そうなる前に この協定から脱退する ことを表明した(I have announced we will withdraw from the deal before that can never happen)。	批准せず	新たな協議を開始するも、いつまでも合意できず 発効せずに、自然消滅 他に脱退する国も出て消滅	関与する企業等に混乱拡大 米国説得で国益はどうなるのか 日米FTAに応じるか AIBBをどう捉えるか	
ビデオ メッセージ (2016/11)	大統領に就任した最初の日に、米国に大惨事となり得る TPP協定から脱退することを通知 する(issue a notice that the U.S. is withdrawing from the Pacific trade deal)。代わりに、公正な二国間貿易協定を交渉する。	脱退	米国抜きで発効 米国抜きで再協議の末に発効	中国等を巻き込むことを含め、次のステップは？ 米が参加したいと言った時にどう対応するか	

TPPをめぐる日米の変遷

TPP断固反対を表明して選挙を行った「ブレない」政党の党首が…



会談



それでも…
「米国抜きのTPPは意味がない。」発効に向けて「挑戦をやり遂げる決意を改めて確認した

一転



我が国がTPP協定を承認し、自由で公正な貿易・投資ルールを牽引する意思を示せば、保護主義の蔓延を食い止める力になります。これは、自由貿易の下で経済成長を遂げた我が国の使命でもあります。

次期米国大統領と協議し、「信頼の置ける人物」と確信したはずが…

大統領就任初日にTPP協定を脱退する!

日本では、「何のための国会審議」、「立ち止まって考えるべき」と言われながらも、国会を延長してまで審議。次期米国大統領の翻意を期待?

ちなみに、交渉経緯は「のり弁」



黒塗りで提出されたTPP交渉資料

我が国の公的医療保険制度について

塩崎厚生労働大臣の答弁

TPP協定には… 我が国の公的医療保険制度について変更を生じさせるような内容は含まれていない。国民皆保険は、当然、そうならば、今後も堅持をされるということでございます。

附属書の2というのがTPP協定にございまして… **社会保険、社会福祉、それから保健などの社会事業サービスを留保**するということになっておりまして、公的医療保険制度を含む社会保障制度について、将来の制度変更も妨げられるものでは決してない。

政府のこれまでの留保に対する立場

2012年9月の社会権規約に関する留保撤回以降、条約の規定する留保であるか否かにかかわらず、

「憲法第73条の解釈上、条約に対する留保は同条第二項にいう外交関係の処理の一環として行政府の権限に属する。よって、その**撤回については行政府限りで行うことができる。**」

「将来国内事情に変更があれば政府として撤回することができる。」